

小委員会・WG 報告(教育本委員会)

教育将来計画小委員会 教育の社会性検討ワーキング

1. はじめに

ここ数年、住まいづくり、まちづくり(都市づくり)、防災化などを進める上で(建築)専門家のあり方や役割が鋭く問われ、専門家が社会にどう応えていくのか、検討がせまられている。ここでは、問題を専門家と社会という枠組みでとらえ、一つの側面として両者に横たわる教育的な結びつきに着目し、これを教育の社会性としてアプローチすることにした。すなわち、専門家の社会に資する専門行為として、教育が市民社会の世論やコンセンサスにどうかかわっていくかを、総合的かつ細分的に検討し、これをもって専門家の社会的役割を明確にする第一歩として、WGを立ち上げ研究することとした。

本WGは、本年4月に発足し6月に意見交換を10月初めにメール会議を行い活動している。ここではWG活動の中間報告を行う事にした。

2. 研究構想

2.1 専門(建築)の各分野において専門家の役割に関する問題が何をもちて提起され展開されようとしているかを調査。

2.2 建築の各分野のみならず市民・子供の分野や環境技術(構造・防災も含)の分野等を含め相互議論を通して、教育と各分野との連携で専門家のありようを明確化する。

3. 意見交換、意見蓄積; これまでの議論として

我ら、種々の切り口で社会性を捉え、社会性の種々様相やあり方について議論した。切り口には、組織(大学、高専、実務系)、対象者(学生、市民、子ども)、経済性、関わり方(共同、啓発活動、実務行為)、日常性(街、地域、現場)に加え、(社会性の前にまず)人間、という視点も入れて、我らの意見をカテゴリーに分け列挙する。

3.1 < 組織と専門家 >

- 大学、大学人
 - (1) 計画系研究・設計の対場らの指摘。
 - a. 大学教育の社会性: 社会が変わっているのに大学が変わっていない。
 - b. 大学教員が社会に出て行っていない。
 - (2) 社会性を念頭に社会性追求と方法としてコミショニングの研究と実践が必要。社会性を失いたくないためNPOを立ち上げ実践。
- 実務 : 実務家から見れば社会性は一般人との対応そのもの。実務家は、その視点で社会性という観点で一般人に働きかけるとともに、専門行為を行なっている。

3.2 < 対象者 >

- 一般人
ユーザーは建築について何も知らされていないし、何も知らない。
- 子ども: 子どものときから、いいもの、美しいものを体験させていく。
- 学生: 社会とどうつながるのか、つながっていくのか。つなが

れば学生は生き生き。教育効果抜群。建築の楽しさが伝わる。学生が考えたこと作ったものが世に役に立つ。それを学生自身が実感。

3.3 < 経済性 >

- 費用対効果: 社会性の一側面。
- 建築オーナー: 建築をもって社会経済活動の担い手。彼らに建築を理解させる。建築的性能と経済性のバランスを彼らが考える際に建築の素養が必要となるからである。

3.4 < 関わり方 >

- 市民から専門家へ: 建築トラブルで事が起こる前に相談を。
- 専門家から市民へ:
 - 一般人が建築のこと(計画や設計)を理解してもらうには、まず専門家がそういう努力をすべき。建築が住まい手や市民のものといっている割には、専門家は基本的なこと忘れがちである。
- 学生の社会への関わり方: 学生が実務家と組んで仕事をする。某大学の研究棟新築について院生が設計図描いた。彼らは大感激。大学内で建築分野を他専門分野の方が見ていた。何かが伝わった。多くのインターンシップはまだ不十分。

3.5 < 日常性 >

- 専門家は地道な行動で社会に十分貢献。別に社会を認識しなくても。あたり前のことをあたり前にする。そういう建築家は世の中では社会派建築家と呼ばれているようだが、ごく普通的设计家である。
- ものに触れる。現場を知る。リアルなものは現場にしかない。

3.6 < 人間性、ほか >

- 人間: 社会性ととともに、人間性を。意欲や好奇心。DIYも良い。
- 研究方法: 街づくりや景観で理論的にこうなったかという結論が出て、住民の幸せにつながるのかどうか。この点からも(専門家が)地域にコミットすることが必要である。
- 専門教育は専門教育に特化ではなく人間性の育成が大事。このことに国も気付いた。人間を社会で営めるように育てる。
- 教育からの世論形成も必要。建築は社会的存在である。

WGメンバー 11人

栗原知子(福井大学)	諫見靖彦(九州産業大学)
熊沢栄二(石川工業高等専門学校)	黒野弘靖(新潟大学)
佐久間博(アリア佐久間)(東京)	須藤美音(名古屋工業大学)
高木真人(京都工芸繊維大学)	谷田真(名城大学)
太幡英亮(名古屋大学)	富樫豊(NPO 地域における知識の結い)
中村尚弘(竹中工務店技研)(東京)	